

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	伊万里市立南波多郷学館
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 本年度は南波多郷学館9年プランの【充実期】(開校4～6年)である。 到達目標3:郷学館で学べば児童生徒の力が確実に伸びる…「南郷チャレンジ」の取組を計画的に進めたことで学習状況調査において「思考・判断・表現力」は県平均を上回った。 到達目標4:郷学館に勤務すれば教職員の指導力が確実にアップする…ICTを取り入れた指導に積極的に取り組み、マイプランの成果指標を達成した教職員は8割に達した。 到達目標5:郷学館の教育活動が南波多の教育振興につながる…地域に出かける奉仕活動に取り組むことで社会参画が昨年度より進んだ。 業務改善については十分な成果が上がったとはいえ、今後、取り組みを改善し、働き方改革を進めていく必要がある。
2 学校教育目標	「ふるさと南波多を愛し、夢・志をもつ児童生徒の育成」 ～ふるさとに学ぶ ふるさとを学ぶ ふるさとの人と共に歩む～
3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 「夢」を語り・学び続ける郷学館 わたしたちの郷学館は、わたしたちが創る 地域とともに創る郷学館 「コミュニティ・スクール」先進校 伊万里の「ひと」と「学校」をつなぐ

4 重点取組内容・成果指標				5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目								
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	最終評価		学校関係者評価		
				達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○児童生徒が学び合う学習の充実による思考力・表現力の向上	○学習アンケートにおいて、自分の考えを表現することに関する項目において肯定的な回答をする児童生徒70%以上。 ○各種学力調査の「思考力・判断力・表現力」に関する問題の結果において、全国や地区平均以上。	・朝の時間を活用し、ステージごとに基礎・基本の定着や活用力を高める問題に取り組む。 ・授業の中で、自分の考えを伝え合い、考えを深めさせる学び合い活動を取り入れ、授業改善を図る。	B	・アンケートにおいて「授業の内容がわかる」「どちらからいえば分かる」と回答した児童生徒が90%を超えていた。 ・授業に児童生徒が考えを伝え合ったり話し合ったりする活動を取り入れた(教職員アンケート95%)。毎週「回すつ」の「南郷チャレンジ」「ライントタイム」を計画的に進めたりすることができている。 ・学習アンケートにおいても、自分の考えを表現することに肯定的な回答をする児童生徒が70%を超えている。	B	・数値目標は達成されており、子供達の主体的な活動もできていると思う。 ・アンケート結果からみても、確かな学力を身に着ける取組がされている。 ・ライントを積極的に利用し学習できる環境になっている。	・研究主任 ・学力向上対策コーディネーター
	●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○アンケートにおいて、「命や思いやりの大切さについてしっかりと考えることができている」と回答する児童生徒80%以上	・教育活動の中で、ほめる(認める)機会を大切に、児童生徒の自己肯定感を高める。 ・各学年の発達段階に応じた道徳科の授業、人権・同和教育「心のひろば」を実施し、児童生徒の人権意識を高める。	B	・道徳に関するアンケートにおいて、「命や思いやりの大切さについてしっかりと考えることができているか。」の設問に肯定的な回答をした児童生徒は95%を超えた。各ステージにおいては計画通り「心のひろば」を実施し、児童生徒の人権意識を高めた。	B	
●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実		○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上	・本校のいじめ防止対策基本方針をもとに、いじめの定義、認知、認知及び対応について共通理解を図り、全職員で対応する。 ・定期的な心のアンケートや教育相談を実施し、いじめの早期発見を行う。	A	・アンケートの結果、いじめ防止について組織的対応ができていると回答した職員が100%であった。問題行動発生時には各ステージ間で連携をはかり、学校全体として組織的に対応することができていたのでも来年度以降も継続して続けていきたい。	A	・よく取り組まれていると思う。 ・早期発見、早期対応に努められている。今後も教職員と児童生徒との信頼関係を築いてもらいたい。 ・いじめは先生が把握できない分も多くあり、0にはならないものである。	生徒指導主事 各担任
●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。		●「先生はあなたのよいところを認めてくれている」と回答した児童生徒70%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・あらゆる教育活動の場で、出番を意図的に作り、役割を計画的に与え、しっかりと承認する機会をつくる。	B	・アンケートの結果、児童生徒の出番をつくり、役割を与えて主体的に活動する機会をおおむね与えていると回答した職員が100パーセントであった。「先生はあなたのよいところを認めてくれている」と回答した児童生徒70%以上であり、さらに、学年を超えて、児童生徒会とも連携して意識的に役割分担をしなが取り組む必要がある。	B	・子供達の積極性はすばらしいと思う。 ・児童生徒の8割以上が将来の夢や目標をもっており、取組みの成果は達成している。 ・職場体験を積極的にを行い、その後に生かされている。	各ステージリーダー 各担任
●健康・体づくり	「運動習慣の改善や定着化」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童(前期課程)60%以上、生徒(後期課程)80%以上	・ウォーキングチャレンジ週間を年2回実施する。 ・外遊びの道具を充実させる。 ・体育の授業や南郷マッパにおいて、児童生徒が自主的な準備や計画を行えるように計画する。	A	・アンケートにおいて授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童(前期課程)65%、生徒(後期課程)91%で目標を達成していた。この結果より、年に2回のウォーキングチャレンジ週間を実施や外遊び道具の充実が運動習慣の定着につながったと考えられる。ウォーキングチャレンジに関しては、健康委員会が引き継ぎ、自主的な活動につながったことは大変価値がある。	A	・スポーツはとても大事だと思う。 ・数値目標は達成されている。工夫された取組をよくやられていると思う。 ・学習や休み時間など、運動をする時間が多いと思う。	体育主任 体育副主任 各担任
	○感染症予防教育の充実	○学校及び家庭生活において、手洗い・うがい・消毒の習慣がついている児童生徒90%以上	・感染症予防の知識や意義、実践方法を全学年、発達段階に応じて保健指導を行う。 ・健康委員会の呼びかけやポスター作成の支援を行う。	A	・アンケートの結果で、学校及び家庭生活において、手洗い・うがい・消毒の習慣がついている児童生徒93%で目標値を超えることができた。この結果より、保健指導と委員会の呼びかけなどの活動の効果があったと考えられる。	A	・取組みの数値目標は達成している。 ・子供達に取り組ませる手法がすばらしいと思う。 ・しっかりとされていると思います。 ・繰り返し繰り返し、目を配り感染対策ができていたか気になることである。	養護教諭 保健主事
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・毎週水曜日を定時退勤日とし、定時退勤を促す。 ・平日の部活動指導を週3回までとする。 ・重複する業務や無駄な業務がないか見直すとともに、分掌内での業務を協力的に進めるようにする。	C	・「業務効率化・時間外在校等時間の削減」という意識をもち、業務改善に向けて取り組んでいるかというアンケート項目において、肯定的な回答をした職員は73%であった。しかし、時間外勤務の平均時間が月45時間以上になった職員は全体の約46%であり、もう一段の改善が必要と思われる。	C	・教職員の徹底した意識改革と保護者等関係者へのPRも必要だと思う。子供達のために。 ・先生達の仕事の負担は大変かと思っている。どこの学校も同じではないだろうか。 ・時間を気にしながらの仕事や細かい目標を立てて、少しでも早く帰れるように工夫してほしい。	管理職(教頭)
	(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目							
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	最終評価		学校関係者評価		主な担当者
				達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○自律的に判断し、活動するステージ経営	○ステージリーダーを中心とした各ステージ経営の充実	○教職員のステージ経営の充実及び満足度90%以上。	・ステージ経営方針に沿って、OJTを核とした共通理解と実践を図る。	B	・アンケートの結果、教職員のステージ経営の充実及び満足度90%以上であり、おおむね達成できたが、ステージ間の共通理解までできるようにはばよ。	A	・取組みの数値目標は達成している。 ・子供達、先生方が一体となり、よくされていると思う。	各ステージリーダー
	○コミュニティ・スクールとしての活動の深化	○保護者や地域におけるコミュニティスクールとしての活動内容の認知度80%以上。	・学校便りや学校HP、コミュニティスクール便り等を通して積極的に情報発信をし、周知と啓発を図る。	A	・アンケートの結果、保護者におけるコミュニティスクールとしての活動の認知度91%、地域と連携した活動は地域・学校の双方によって充実している89%で目標を達成した。学校だけでなくコミュニティスクールたよりの発行、学校HPの更新によりコミュニティスクールとしての活動を周知啓発することができた。	A	・積極的な情報発信等により、認知度は上がっている。 ・先生方の協力、地域の方の協力、コミュニティセンターとの連携もスムーズにいき、良い成果だと思える。 ・「タイムツツパマジミ保護活動」「大野岳清掃」「手書き和紙体験」など充実した取組がなされている。	管理職(副校長)
	○一人ひとりのニーズに応じた個別指導の充実	○特別支援学級および通常学級において支援を要する児童生徒への指導・支援の充実が図られた実感する教職員80%以上。	・校内においてケース会議や児童生徒の見援を行い支援する。 ・関係機関を招聘しての職員研修を充実させ、「誰でもできる特別支援教育」を目指す。	B	・アンケートの結果、支援を要する児童生徒への支援について、91%の職員が達成及びおおむね達成している、という結果だった。就学支援は、児童本人や保護者の希望に沿うことができた。来年度は支援学級の児童生徒が7名増えるので、さらに個々の見取りや支援を行ってきたい。	B	・充実した取組がなされていると思う。 ・勉強もされて、子供達に対する理解もあり、安心している。 ・指導支援は充実していると思う。	特別支援教育コーディネーター
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育								
5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> 本年度は南波多郷学館9年プランの【充実期】(開校4～6年)の最終年度である。 到達目標3:郷学館で学べば児童生徒の力が確実に伸びる…「南郷チャレンジ」「ライントタイム」の取組を計画的に進めたり、授業において話し合う活動を取り入れたりすることで学力向上を図った。 到達目標4:郷学館に勤務すれば教職員の指導力が確実にアップする…ステージ経営の充実を図りながら同僚性を高め、共通理解と共通実践のもと学習指導や生徒指導において指導力を向上させた。 到達目標5:郷学館の教育活動が南波多の教育振興につながる…地域と学校の連携のもとに行われた様々な活動は広く認知され、地域と学校の双方にとって充実したものとなった。 働き方改革の推進については、組織としての取り組みの成果はあるとはいえ、今後は、業務改善に向けた意識の醸成や具体的な方策を更に講じながら、変革を進めていく必要がある。 							